

だい 5 期 北 海 道 障 が い 福 祉 計 画 に 係 る 工 程 表 概 要
 (平成 30 年度 予定)

1 道民、企業、行政等が一体となった応援体制づくり

- ① 働く障がい者に対する道民の応援
 ② 地域ボランティア等による地域活動支援センター等への支援

D 取組内容	30年度	スケジュール
(2) 地域イベントや公共施設等での出店スペースの優先的確保やボランティア協力・市町村における広報	道の庁舎や売店等での授産製品の販売及び販売に向けた検討	4月～ 道庁赤れんが庁舎売店及び振興局庁舎内での販売 5月～10月 赤れんが庁舎前庭での北のめぐみ愛食フェア参加 7月～8月 赤れんが庁舎前庭での障がい者就労カフェ実施 8月～3月 庁舎を活用した授産弁当（就労継続支援施設A型、B型が製造した弁当）の販売

3 授産事業所や障がい者雇用企業等からの購買促進

D 取組内容	30年度	スケジュール
(3) 授産製品等の購買促進のためのホームページ等による広報 授産製品の価値や魅力（ブランド力）を高めるための検討	市場ニーズ調査の結果から生み出された新たな商品の販売。パイヤー、消費者の評価調査。	9月～ 「複数事業所が連携した加工食品共同開発事業」 ・昨年度の事業から更なる事業所を加え、製品のブラッシュアップ、一般消費者の評価を踏まえ、価値を高めたレシピを開発する。

② 働く障がい者に対する企業・行政の応援

4 企業等と連携・協働による就労支援の取組促進

D 取組内容	30年度	スケジュール
(6) 企業認証制度の必要に応じた評価基準の見直し 効果的な制度となるよう優遇措置の検証と制度の普及	評価基準の検証（必要に応じた見直し）	適宜 評価基準の内容等について検討
	優遇制度の検証（必要に応じた見直し）	適宜 優遇制度の内容等について検討

6 官公需の発注促進

D 取組内容	30年度	スケジュール
(15) ・マッチング事業 ＜共同受注システム＞ の活用の促進	指定法人の「地域 スタッフ」による 事業紹介と活用 の働きかけ	随時 ・「優先調達推進法」にもとづく調達推進の手 段として主に優先調達方針未策定市町村に対 し事業所と生産品目のリストを提供し、取組みの 依頼を行う。

II 一般就労の推進

⑤ 移行サポート体制の整備

9 障害者の一般就労への移行促進

D 取組内容	30年度	スケジュール
(22) ・関係機関などにおける 職業訓練や専門的支援 の実施	障害者職業能力 開発校における訓練 の実施	4月～ 訓練の実施 (訓練期間 訓練科目により1～2年間)
	高等技術専門学院に おける訓練の実施	4月～ 訓練の実施 (訓練期間1年間)
	障害特性に応じた 専門的な就労支援	・適宜 精神障害者雇用トータルサポーター等によ る就労支援の実施。
	職業準備支援の 実施	年間を通し、支援を実施。 実施対象者は各年65名、うち受講者対象者の 50%以上の就職を目指す。

⑧ 職場定着のための支援

12 関係機関の連携による職場定着

D 取組内容	30年度	スケジュール
(31) ・障害者就業・ 生活支援センターや 職場適応援助者 (ジョブコーチ) 等に よる支援の活用促進	職場適応援助者 (ジョブコーチ) の活用	年間を通し、支援を実施。 ・障害者及び企業に対する職場適応を図る ための支援 (標準3カ月) 障害者職業センター実施分支援対象者数 : 109名
(34) ・離職後のフォローに ついての検討	離職後のフォローにつ いて関係機関が役割 分担した適切な対応の 検討、一般就労実態 調査等による離職理由の 調査・分析、及び企業 への周知	適宜 ・精神障害者雇用トータルサポーター等による 就労支援の実施。 ・福祉施設等利用者の一般就労等に関する実態 調査を継続し、離職理由の分析・公表を行う。

Ⅲ 多様な就労の機会の確保

⑨ 地域特性等を活かした就労機会の確保

14 障がい特性に応じた働く場の確保

D 取組内容	30年度	スケジュール
(40) 障がいのある人と対等な関係で相談支援を行うピアサポーターなどの就労の場の拡大	ピアサポーター等を対象とした研修会の開催	地域生活移行に関する研修に業務実績があり、ピアサポーター等の状況を把握し全道的に研修を行える事業者に委託を行う。 4月～ 地域別などに研修を実施。

⑩ 施設外就労、施設外支援等の就労形態の普及促進

17 在宅障がい者に対する就労支援の推進

D 取組内容	30年度	スケジュール
(44) 研修や企業への助成など各種支援策の周知を図り、活用を促進	障害者雇用納付金制度に基づく障害者雇用調整金等の支給	平成31年1月から3月に各地で合計20回以上実施する予定。 札幌7回、旭川2回、小樽1回、帯広2回、釧路2回、函館2回、苫小牧2回、室蘭2回、北見2回

Ⅳ 福祉的就労の底上げ

⑪ 授産事業所の収益力の向上

21 魅力ある製品づくりと良質なサービスの提供

D 取組内容	29年度	スケジュール
(52) 商品開発のスキルアップのための実践的な研修・商業デザイナーやフードコーディネーター等の専門家によるアドバイス	商品開発のスキルアップのための研修や直接指導の実施	9月～ 複数事業所が連携した加工食品共同開発事業の実施

⑫ 製品等の販路拡大

22 マッチング機会の拡大と全道域での展開

D 取組内容	30年度	スケジュール
(55) 商談会の開催や経済団体などが主催する商談会等への参加 ・プレゼンテーションスキル向上を図るための研修の実施	企業と施設・事業所による商談会等の実施	4月 「北海道イオン会合同見本市」へ参加し、商品評価及び商談を行う。 (1事業所参加、16品目出展) 6月 社会就労センター協議会の研修会場での内需拡大商談会の実施。 (4事業所参加)

